

## 上海の美しい夜景

上海の夜景は美しく輝いていた。日没時から 20 分～30 分後の薄暮の時間が一番好きだ。空はブルーの光りを残し、ビルのシルエットもかすかに見える。そして街の光りが全て輝いた瞬間が最高のロケーションへと変身する。さあ！素敵なイルミネーションの夜が開幕した。

黄浦公園は大勢の夜景を楽しむ人達でごった返していた。ここ外灘は中山東一路を挟んで西に歴史建築群、東には外灘遊歩道、そして川沿いの黄浦公園が続く観光スポットである。租界時代の歴史建築は 52 棟ものビルが続き、それぞれ建物の主要な部分からライトが点灯され、美しく浮き上がったように見える。小さい写真の右が上海市税関で 1927 年竣工。左は上海浦東発展銀行で 1923 年に竣工されている。



一方、近代的高層ビル群が立ち並ぶ浦東地区には色とりどりの光が眩しく輝き、川面にもその光が映って一層華やかに見えた。なかでも東方明珠のテレビ塔（高さ 468m）はロケットの発射台のように見え、一際美しくライトアップされていた。そして右奥には世界でも指折りの高さを誇る超高層ビル群が控えている。

上海市（人口 1858 万人）には 16 階以上の高層ビルは 4000 を超え、ニューヨークを抜いて世界一となっている。そしてこれらビルの全てが夜ともなると美しくライトアップされるから驚きだ。今夜も上海の光りのページェントは繰り広げられている。 撮影 2010 年夏

